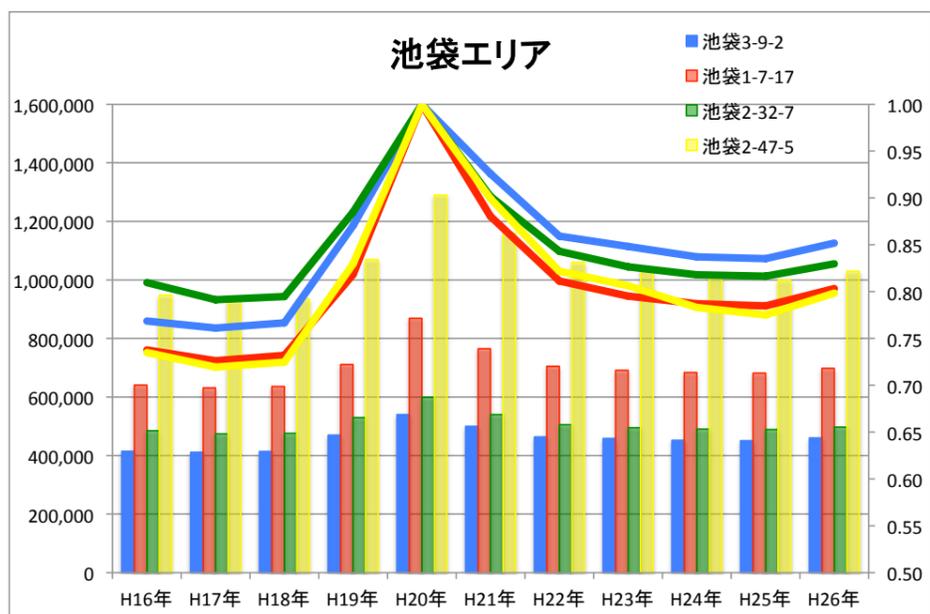
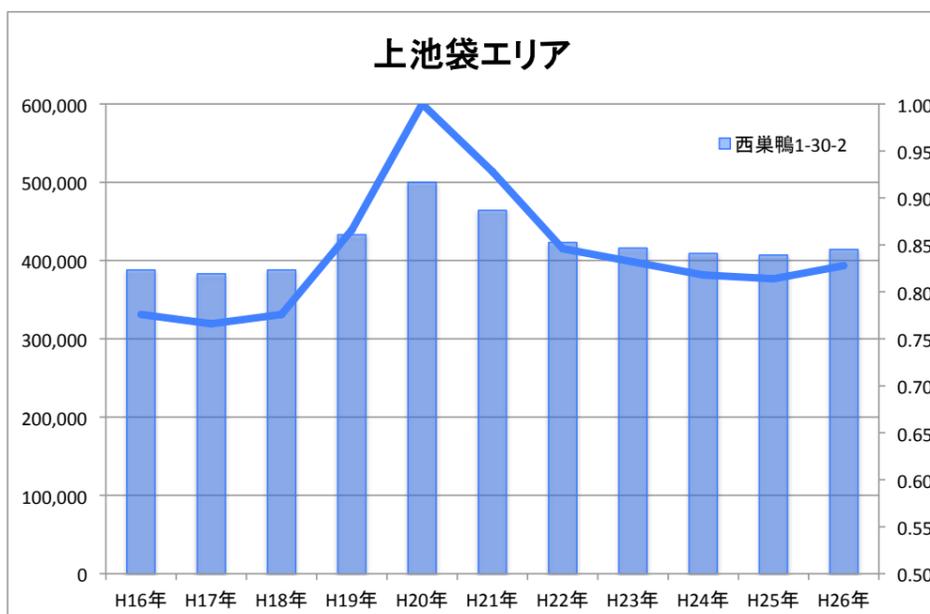
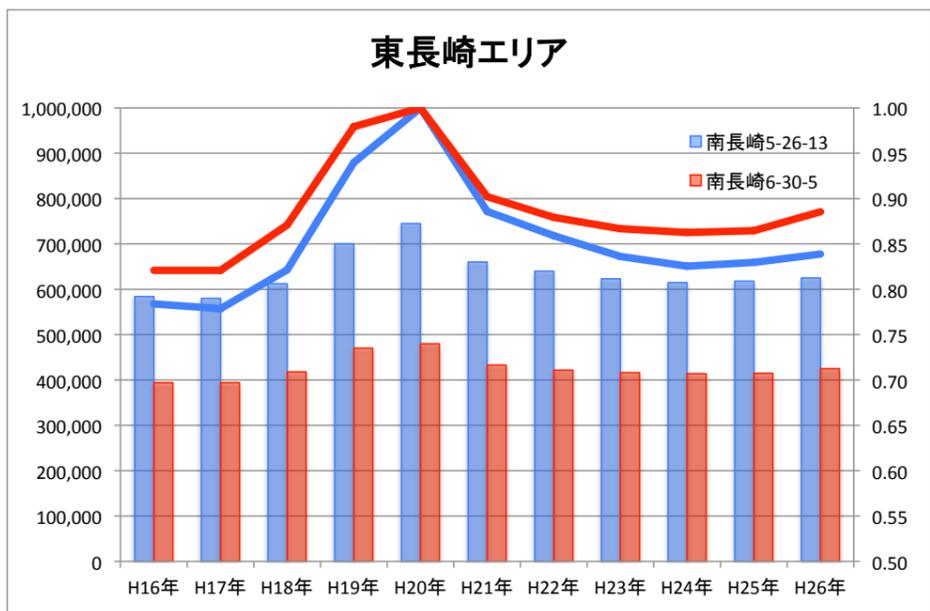
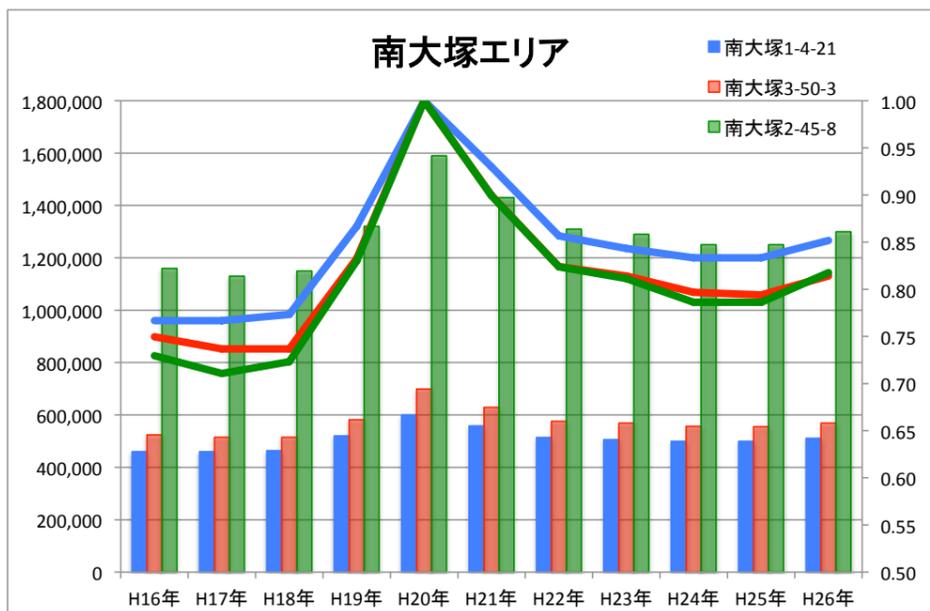
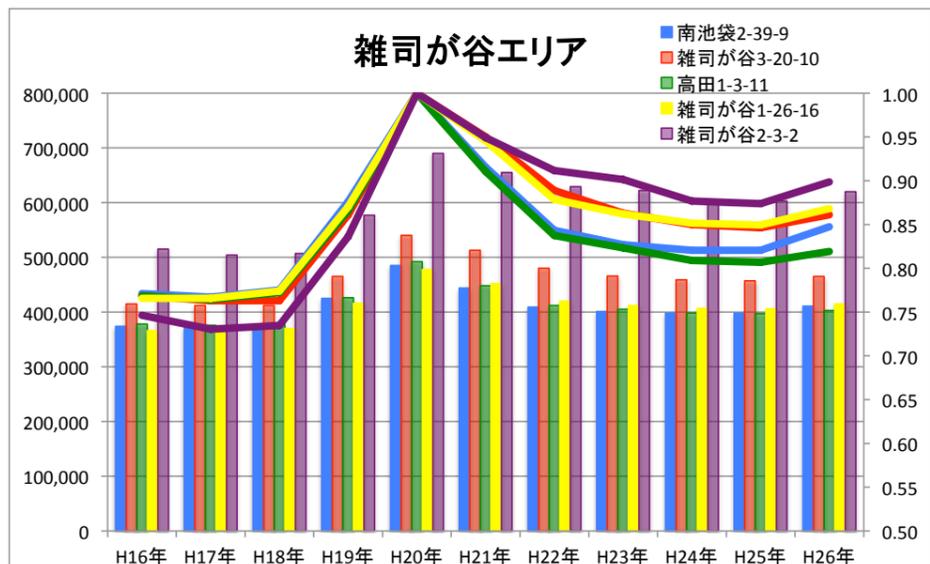
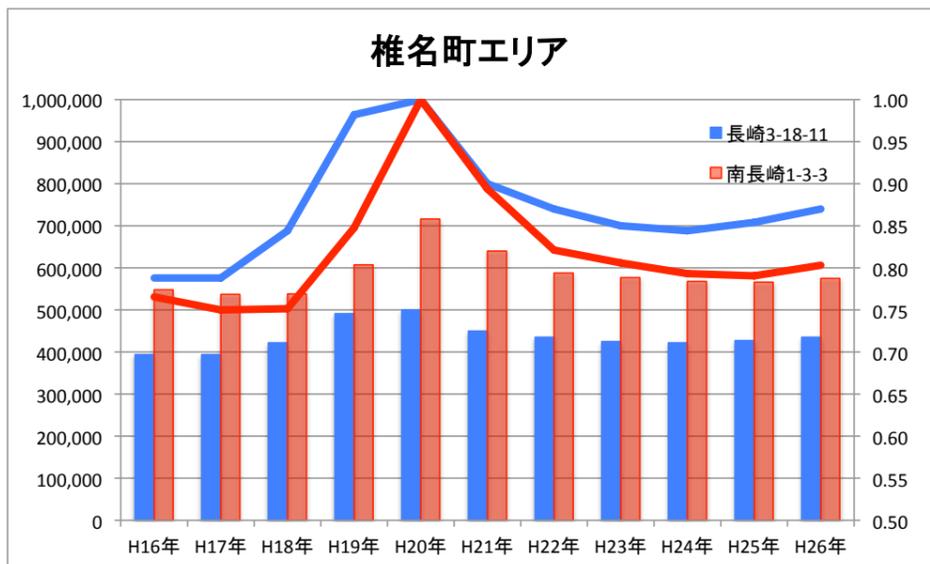
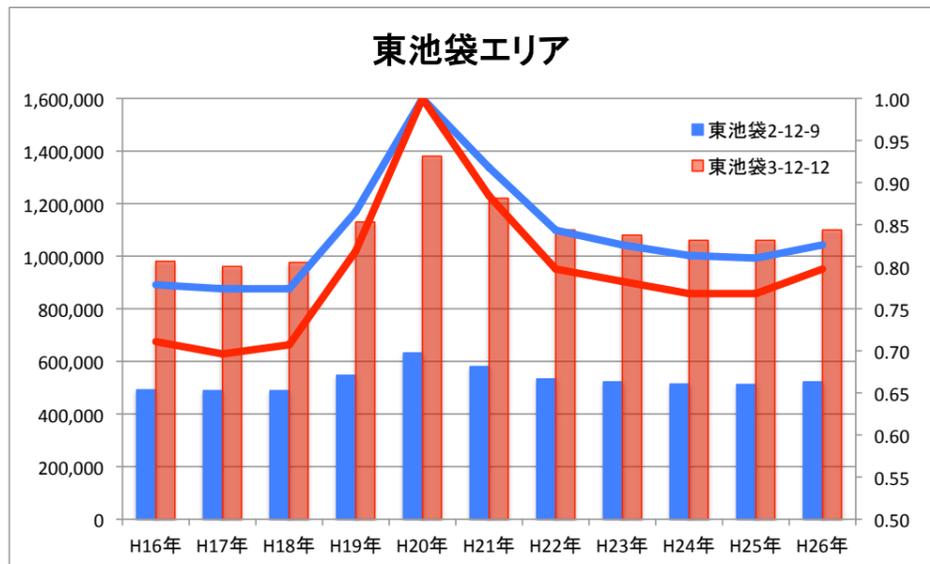
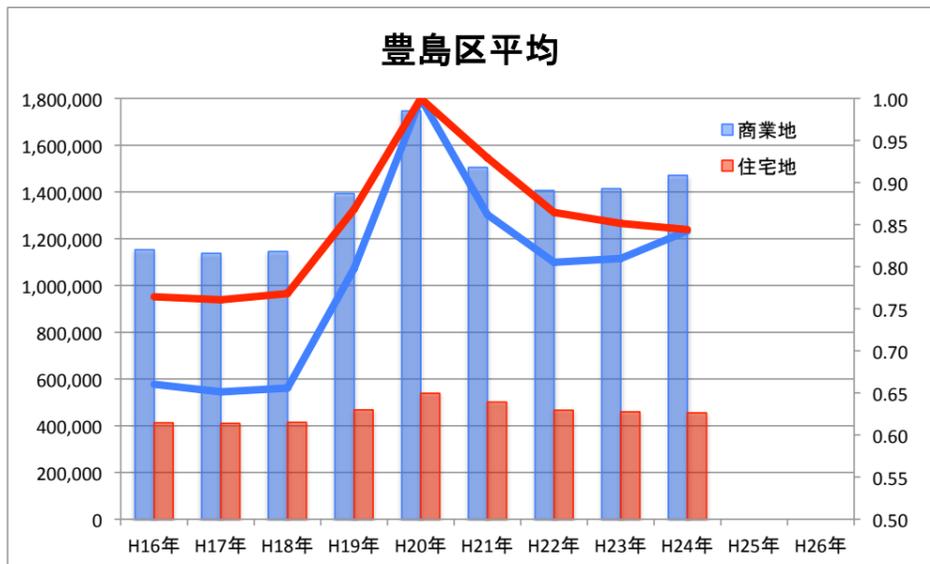


豊島区内7エリアの公示地価推移(H16-H26)



- ・椎名町エリアの長崎3-18-11、東長崎エリアの南長崎5-26-13、南長崎6-30-5は基準地価の推移。
- ・棒グラフは各標準地の公示地価および基準地価を表す。
- ・折れ線グラフは各標準地の平成20年の地価を1.00とした場合の割合を表す。
- ・平成16年～平成26年にかけては全エリアで平成20年がピークで平成25年に下げ止まり、平成26年には全エリアで上昇。
- ・豊島区平均を見ると、住宅地に比べて商業地は変動幅が大きいことから、社会経済情勢の影響を受けやすいことが窺える。
- ・各標準地別に見ると、雑司が谷エリアを除いては、地価の低い標準地ほど下落率は低く、上昇率は高い傾向にある。